



えんだより

幼児クラスはハロウィン本番に向けての楽しかった制作が終了し良い思い出となったようです。

11 月は季節的にも爽やかで戸外へ出かけて遊ぶ日が多くなります。秋からすでに冬の準備をしている動植物を観察し、調べたり、感動したりすることが子どもの成長には欠かせません。

ご家庭でもお子さんと遊ぶ時は、思い切り子どもに返って屋外で、ノビノビと体を動かし日常の疲れを解消しましょう。



【子育てとは?】

人の感情は3歳までに育つと言われていいますので心に響く言葉の交わり合いをしましょう。赤ちゃんに言葉をかけても分からないと思って無言でいる大人がいますが、言葉とは音声だけではありません。

顔の表情・接する態度や手の動きも言葉と同じコミュニケーションです。目と目を合わせて笑顔で話しかけると、赤ちゃんも声を出して関わりを持つようになります。その時は心の声を聴いてみましょう。

最近幼児期になっても言葉の遅れがあり、自分の考えや気持ちを表現できないで、衝動的になったりキレやすくなる子どもが増えています。

原因の一つは、乳児期における周囲の無関心です。子どもは自らの言葉を使う環境にいないと語彙が貧困になります。言葉の教師は身近な大人です。語り掛け、丁寧な言葉のやり取りをすることによって子どもの言語習得の質の高さが違ってきます。



★給食室より《幼児食について ③》

さわやかな秋になり、子ども達の活動も盛んになって食欲も増える季節となりました。

明日は、お芋ほりの園外保育があり、にじ組つき組・ほし組はお弁当給食になります。

沢山体を動かした後にみんなで食べるお弁当給食は、「ベーコンピラフ」・「鶏肉のバーベキュー焼き」・「ポテトサラダ」・「青菜のスープ」・「みかん」を予定しています。



*11月15日の七五三給食は、ご家庭で手作りすることの少なくなったお赤飯や、子ども達が好きなエビフライ・ウインナー・アップルサラダ・お花麩のすまし汁などの華やかな給食でお祝いしたいと思います。

*11月17日の保護者会では、ふたば組・もり組の保護者の方に離乳食や給食の試食会もありますので是非ご出席ください。

離乳食は、月齢による栄養や量だけではなく歯の生え方や咀嚼など個々の成長に合わせた物を、保育士・栄養士・調理師が連携し提供しています。離乳食でお悩みやご質問がございましたらお声がけください。

*今月も2・3・4・5才で非常食のパンをセレクト方式で食べる機会を設けました。

子ども達が、いざという時の食の安心に繋がる様に、災害時に備え年に数回、非常食を提供していきます。

(当園の非常食は幼児食、ミルクだけではなく離乳食も備蓄しています)

★保健室より

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎が流行時期に入りました。

感染予防には手洗いが有効ですが、つめが伸びているとつめの間にウイルスが入り、手洗いが不十分になる場合がありますので、つめは短く切るよう心がけましょう。

また、家族に感染者がいる時には、別々のタオルを用意し、不潔になりやすい固形せっけんではなく、1回ずつ個別に使える液体せっけんを使いましょう。ノロウイルスは、症状が治まっても10日程度、ウイルスが排出されていることがありますので、トイレを流す時には蓋を閉めてから流しましょう。

オムツの取り扱いにも十分に注意しましょう。

吐物に関しては、想像以上に散乱しますので、広い範囲での消毒が必要となります。また、消毒作業をする時は十分な換気をして行いましょう。

ノロウイルスは通常の洗剤では殺菌できません。その為、感染した人の衣類等は塩素系消毒液を使用して洗濯しましょう。

ノロウイルスは感染力が非常に強い為、感染拡大が早いので、予防の徹底を心がけましょう。

※ 嘔吐や下痢が治っていても、軟便の場合には、ウイルスがまだ出ている可能性がありますので普通便になってからの登園をお願い致します。

